平成30年度　指導と評価の年間計画

（大阪府立西淀川高等学校　全日制の課程　普通科）

科目（教科）	単位数	学年	教科書名（出版社）	副教材名等（出版社）
古典A(国語)	2	3	古典A　物語選（大修館書店）	なし

担当者より	古典は苦手だという声をよく聞きます。その原因の第一は、「読めない」「わからない」からではないでしょうか。文法も違いますし、言葉も違うのでそれは当然のことなのです。しかし、現代の日本語との共通点もあります。それを手掛かりとして、昔の世界をのぞいてみませんか。授業に必要なものは、教科書とノートです。

到達目標 【学習指導要領】	古典としての古文・漢文を読むことで、日本という国の文化・伝統に対する関心を深める。現代に通ずる知識を身につけ、感性を養い、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。

評価の観点	観点の趣旨	評価方法
①関心・意欲・態度	古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、我が国の伝統と文化に対する関心を深めようとしている。	ノート、プリント
②話す・聞く能力	―――	―――
③書く能力	―――	―――
④読む能力	まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。	ノート、プリント 定期考査
⑤知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身につけている。	ノート、プリント 定期考査

学期	単元・教材名	評価のポイント					指導と評価	評価方法
		①	②	③	④	⑤		
1学期	随筆を読む	○	－	－		○	時代背景、作者について理解する。	ノート、プリント 音読テスト 定期考査
	「枕草子」		－	－	○	○	歴史的仮名遣いを習得する。	
	「方丈記」	○	－	－	○		作者の主張を理解し、これに対する自らの主張を表現する。	
	物語を読む「伊勢物語」	○	－	－		○	時代背景、作者について理解する。	ノート、プリント 音読テスト 定期考査
			－	－	○	○	流暢に古文を読むことができるようする。	
			－	－		○	物語のあらすじを掴み、物語→歌の構成を理解する。	
	百人一首	○	－	－	○	○	百人一首を詠み、作者・技法・訳への理解を深める。	ノート 定期考査
2学期	漢文を読む	○	－	－		○	時代背景、登場人物について知る。	ノート、プリント 音読テスト 定期考査
	「知音」		－	－	○	○	正しく音読し、書き下せる力を養う。	
	「画竜点睛」	○	－	－	○		あらすじを理解し、話のポイントをおさえる。	
	「漱石枕流」							
	思想を読む	○	－	－		○	時代背景、登場人物について知る。	ノート、プリント 音読テスト 定期考査
	「不忍人之心」		－	－	○		正しく音読し、書き下せる力を養う。	
	「人之性悪」		－	－	○	○	話の論理を掴み、自らの主張を述べることができる。	
	百人一首	○	－	－	○	○	百人一首を詠み、作者・技法・訳への理解を深める。	ノート 定期考査
3学期	百人一首をテーマとした古典	○	－	－		○	時代背景、登場人物について知る。	ノート、プリント 定期考査
	十訓抄「大江山」		－	－	○	○	正しく音読し、話のあらすじを理解する。	
	大鏡「道真左遷」	○	－	－		○	技法を用いて、短歌を詠む。	
	土佐日記「阿倍仲麻呂」							